

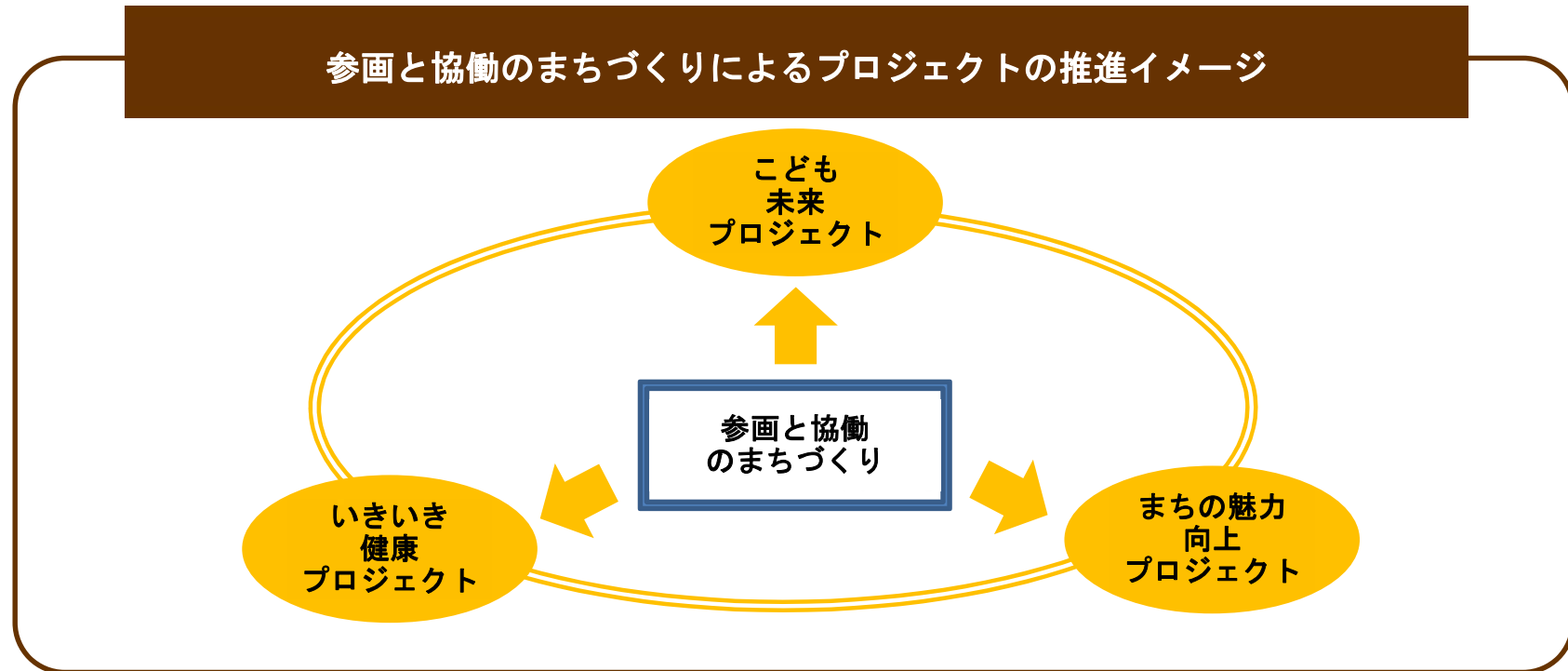
# 第1章

## 後期重点プロジェクト

# 1 後期重点プロジェクトについて

## 後期重点プロジェクト

本市においては、地域社会のめざすべき方向や果たすべき役割について、多様なまちづくりの主体と行政が共通認識を持ち、適切な役割分担のもとで、それぞれの持つ能力を最大限に発揮しながら、個性的で魅力的なまちづくりを展開していくこととしています。このような状況の中、本市の持つ「市民力」や「地域力」が発揮できる環境を整え、市民等の公益的な活動をさらに推進し、それを礎とした参画と協働のまちづくりをめざすために、平成30年度から34年度までの計画期間中に、重点的に取り組む具体的なまちづくりの項目を「後期重点プロジェクト」と位置付け、施策を横断しながら展開します。



# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

## プロジェクト1

## こども未来プロジェクト

こころ豊かな子どもを育む環境を創出するため、妊娠、出産といったそれぞれの子育てのライフステージにおいて、切れ目のない支援を行うとともに、子どもの生きる力を育むための環境整備をめざします。

### 【取り組み】

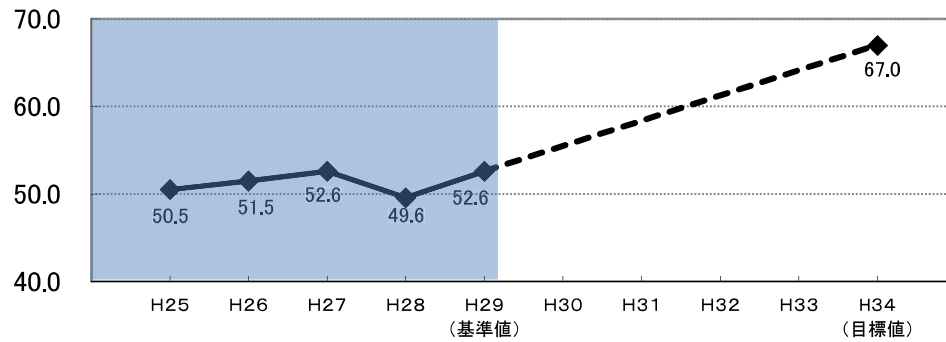
- こども・若者ステーションの開設 ●妊婦健康診査費助成事業の拡充 ●5歳児発達相談事業の実施 ●病児保育事業の実施
- 民間認定こども園(保育所)・小規模保育事業の整備支援 ●市立認定こども園の整備 ●1号認定保育料の無償化
- 留守家庭児童育成クラブの拡充 ●ALT(外国語指導助手)などの配置の拡充 ●夏季休業期間の短縮 ●スクールソーシャルワーカーの拡充
- 川西南中学校へのエレベータ整備 ●センター方式による中学校給食のPFI導入可能性調査

### 評価指標

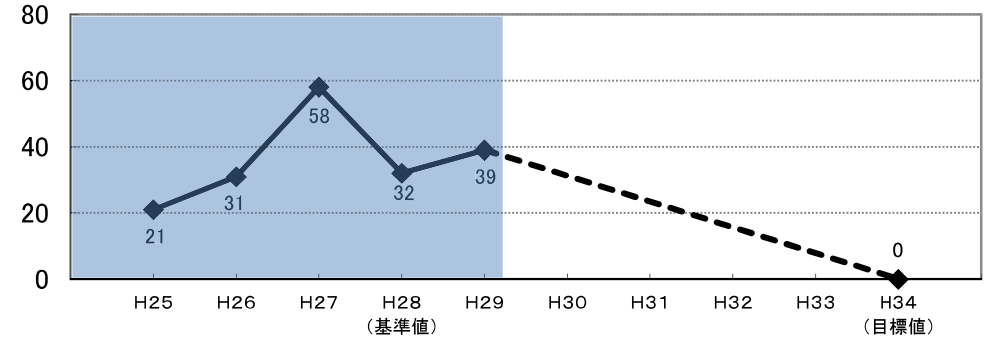
名称	方向性	基準値(H28)	直近値(H29)	目標値(H34)	定義
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	↗	52.6% (H29)	52.6%	67.0%	市民実感調査より ※家族に中学生以下の子どもがいる市民が対象
保育所の入所待機児童数	↘	32人	39人	0人	各年度4月1日現在の待機児童(国基準)
留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数	↘	73人	113人	0人	各年度5月1日現在の待機児童(国基準)
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合	↗	86.1%	81.1%	87.0%	アンケート調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(小学生)	↗	85.0% (H27)	85.0%	88.0%	子どもの実感調査より
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)	↗	85.0% (H27)	82.0%	88.0%	子どもの実感調査より

# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

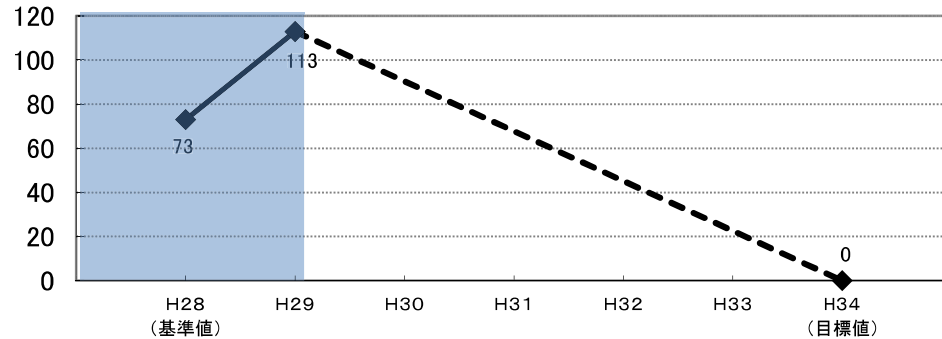
「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合(%)



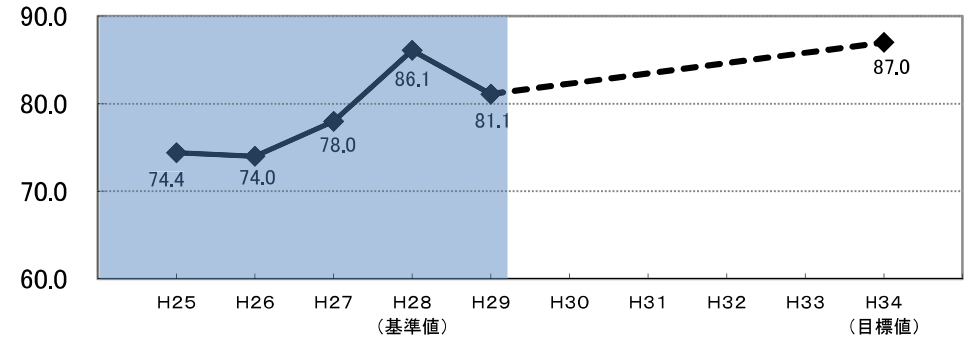
保育所の入所待機児童数(人)



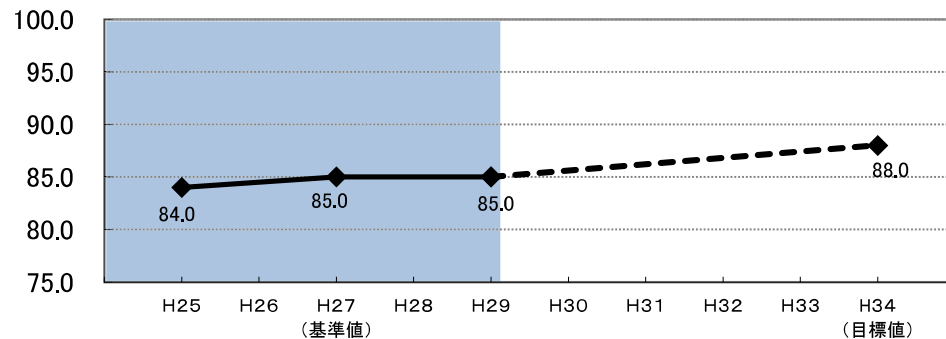
留守家庭児童育成クラブの入所待機児童数(人)



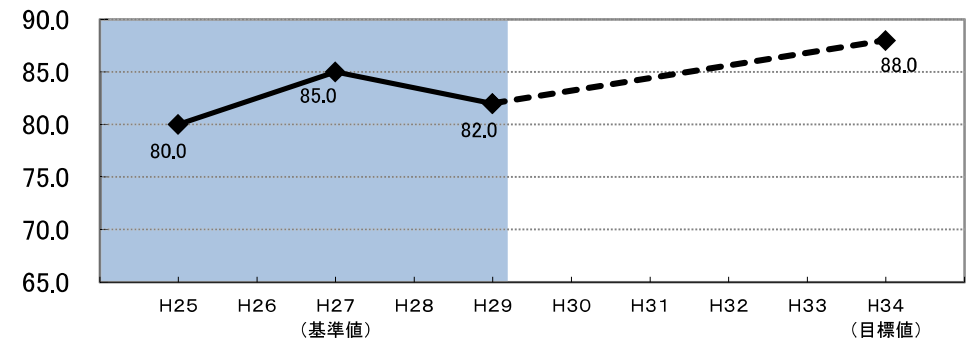
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合(%)



「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(小学生)(%)



「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)(%)



# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

## プロジェクト2

## いきいき健康プロジェクト

市民一人ひとりが健康でいきいきとしたまちづくりを進めるため、老若男女を問わず健康増進につながる施策を展開するとともに、保健・福祉・医療の連携体制の強化をめざします。

### 【取り組み】

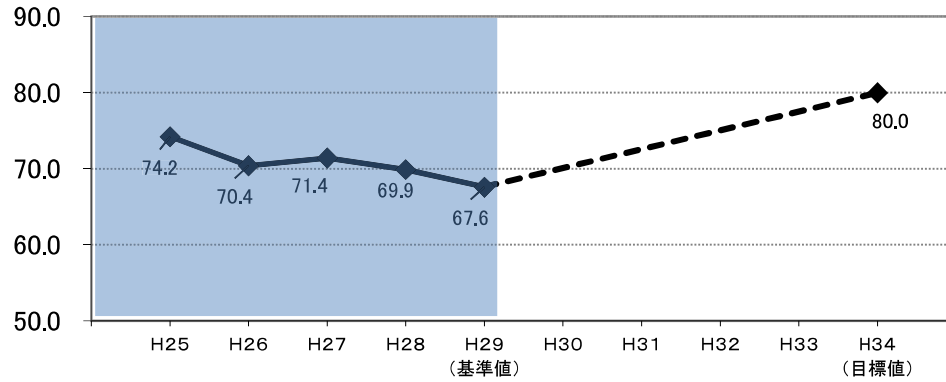
- 健幸マイレージの実施
- がん検診の個別受診勧奨の実施
- 特定健康診査及び後期高齢者健康診査における尿酸検査の追加
- 妊婦健康診査費助成事業の拡充（再掲）
- 5歳児発達相談事業の実施（再掲）
- 在宅医療・介護連携支援センターでの支援の継続
- 東谷地域包括支援センターの出先機関の開設
- (仮称)火打健幸公園の整備
- (仮称)出在家町健幸公園のオープン

### 評価指標

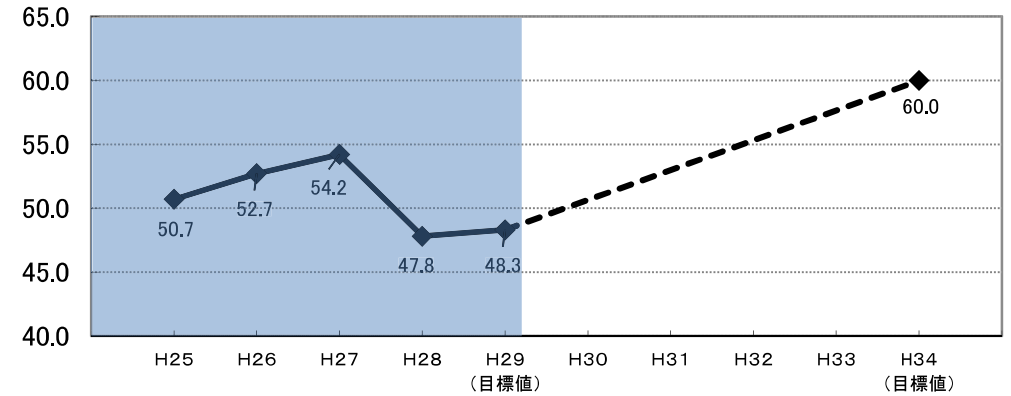
名称	方向性	基準値（H28）	直近値（H29）	目標値（H34）	定義
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	↗	67.6% (H29)	67.6%	80.0%	市民実感調査より
市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	48.3% (H29)	48.3%	60.0%	市民実感調査より
かかりつけ医を持っている市民の割合	↗	66.7% (H29)	66.7%	75.0%	市民実感調査より
高齢者に占める要介護（支援）認定者の割合	↘	18.2%	18.0%	22.0%	65歳以上の介護保険被保険者に対する要介護（要支援）認定者の割合（2号を含む）

# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

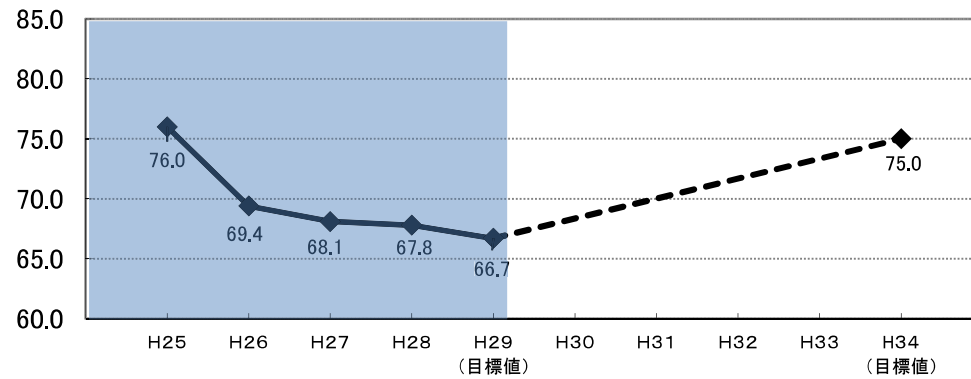
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合(%)



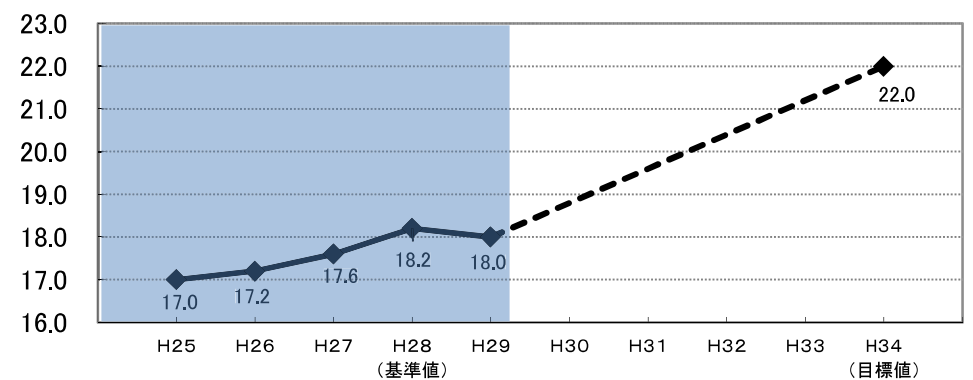
市内の医療環境に満足している市民の割合(%)



かかりつけ医を持っている市民の割合(%)



高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合(%)



# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

## プロジェクト3

## まちの魅力向上プロジェクト

市民が安全・快適・便利に暮らせるまちづくりを進めるため、都市基盤の整備はもとより、自然環境との調和の取れた良好な住環境を維持・創出し、地域の活性化を図ることでまちの魅力の向上をめざします。

### 【取り組み】

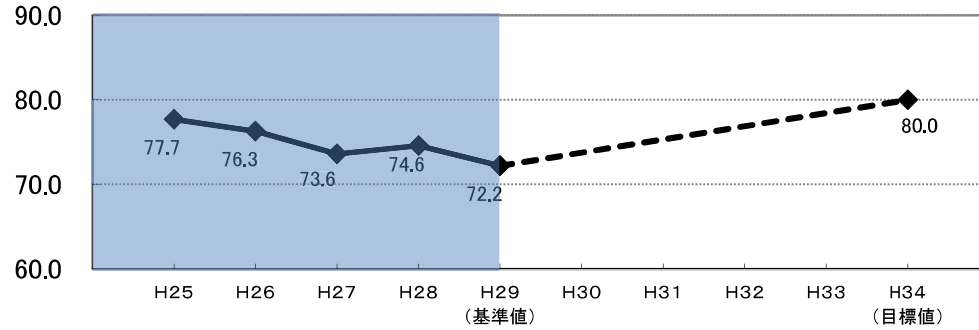
- キセラ川西プラザのオープン ●キセラ川西の都市基盤整備 ●豊川橋山手線の整備
- 子育て世帯等への(仮称)空き家活用リフォーム助成制度の実施 ●親元近居助成制度の実施 ●結婚新生活支援助成制度の実施
- 黒川地区における観光まちづくりの検討 ●「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」の展開

### 評価指標

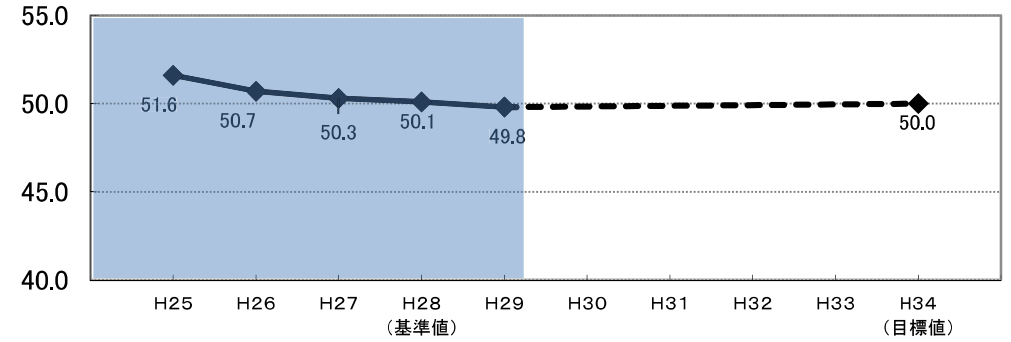
名称	方向性	基準値 (H28)	直近値 (H29)	目標値 (H34)	定義
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	↗	72.2% (H29)	72.2%	80.0%	市民実感調査より
ふるさと団地の生産年齢人口比率	→	50.1%	49.8%	50.0%	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の生産年齢人口比率
観光客入込数	↗	2,249千人	2,249千人 (H28)	2,376千人	兵庫県観光客動向調査より(うち市内の観光地点及びイベント等を訪れた人数を集計)
自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	↗	46.2% (H29)	46.2%	70.0%	市民実感調査より
社会移動数転入・転出の均衡	↗	△53人	△53人 (H28)	0人	各年の転入者数－転出者数
市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数	↗	135,413件	135,413件 (H28)	150,000件	サイトへのアクセス件数

# 1 後期重点プロジェクトの取組項目について

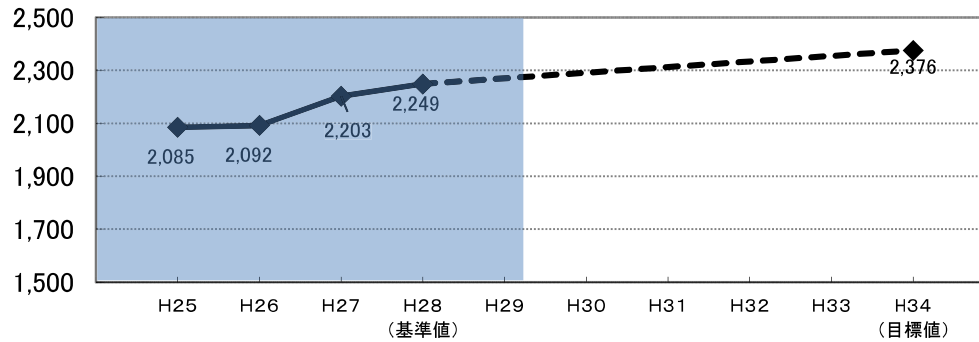
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合(%)



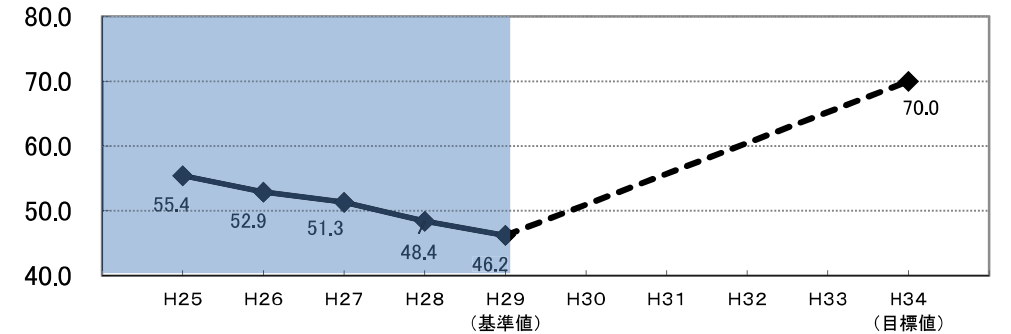
ふるさと団地の生産年齢人口比率(%)



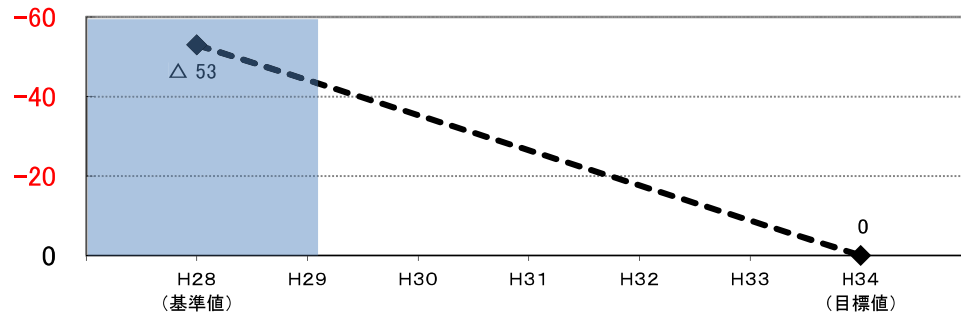
観光客入込数(千人)



自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合(%)



社会移動数転入・転出の均衡(人)



市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数(件)

